

功労者部門：下津 公一郎（南さつま市）

1 経歴

昭和28年，鹿児島県加世田市（現・南さつま市）生まれ。

県外での百貨店勤務や画廊経営を経て，平成7年に帰郷。南薩地域を中心に，イベントのプロデュースや地域活性化事業の企画運営を手がける。

平成13年にNPO法人エコ・リンク・アソシエーションを設立し，広域連携をテーマに，体験型観光やグリーン・ツーリズム事業のほか，森林・海等の環境保全活動等に取り組んでいる。

そのほか，平成22年5月に設立した地域のグリーン・ツーリズム推進組織である「かごしまグリーン・ツーリズム協議会」の会長としても活動している。



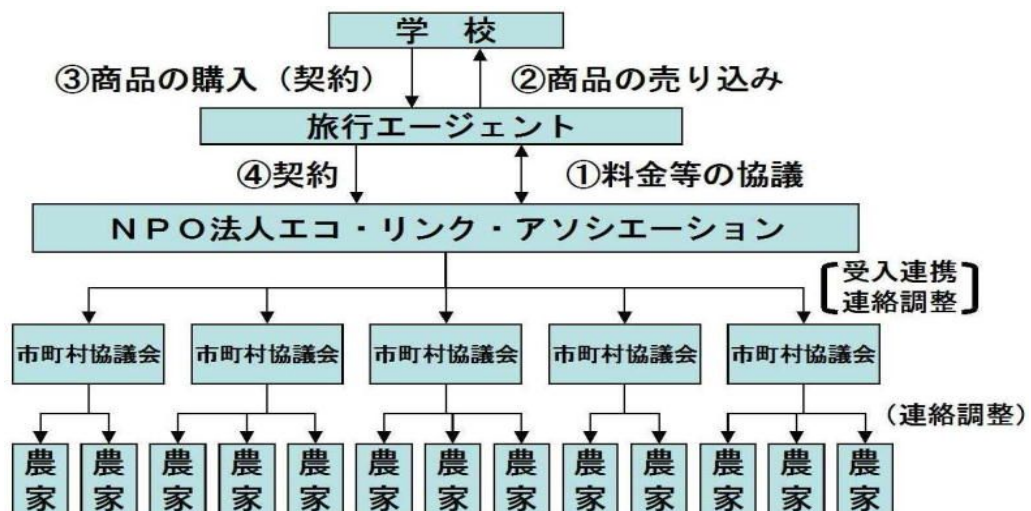
2 これまでの功績の概要

(1) 鹿児島県における体験型教育旅行の受入体制の構築

南さつま市を拠点として，平成13年から体験型教育旅行の受入に向けた体制づくりに取り組み，平成16年に県内で初めてとなる体験型教育旅行の受入を実施した。

その後，南薩地域だけでなく県全体での受入体制構築に向けて尽力。現在は，県内ほぼ全域にネットワークが拡大し，下津氏が代表理事を務めるNPO法人エコ・リンク・アソシエーションは，体験型教育旅行受入のコーディネーターとして，農村集落と協力して生徒の受入れを行っている。

【体験型教育旅行の受入体制（NPO法人エコ・リンク・アソシエーションの場合）】



(2) 体験型教育旅行の受入を通じた功績

体験型教育旅行の受入を通じて、農村集落における

- ・ 地域資源の発掘，見直し
- ・ 地域の一体感や誇りの醸成
- ・ 体験料の収入による農家の所得向上，経済活動の活発化
- ・ 交流人口の拡大による地域活性化

に大きく寄与している。

また，生徒と受入農家が親しくなり，受入後も手紙やメールのやりとりなどの交流が行われている例もある。



農業体験（田んぼの草取り）



農作業の合間のひととき

(3) 農村集落が取り組むむらづくり活動の支援

ア 農村集落と連携したむらづくり活動

集落と協力し，地域資源の発掘やイベントの実施，持続的な活動に繋がる仕組みづくり等に取り組み，住民の一体感の醸成や集落の課題解決，集落の活性化に繋がっている。



地域住民みんなで「あるもの探し」

イ 高齢者が生きがいを持って農業を続けられる仕組みの構築

南さつま市3集落及び「かごつまふるさと屋台村」と連携して，地域農産物のPRや情報発信，庭先集荷の体制構築に取り組んだ。この取組を通して庭先集荷の体制が地域に導入され，高齢者の農業生産の再開や，生産者同士の情報交換が行われるようになるなど，高齢者の生きがいづくりや地域コミュニティの再生に繋がっている。



高齢農家の方々が持ち寄った農産物